

マダガスカル共和国大統領夫人が富士見台小学校を訪問！ ～「一校一国」がご縁となり、児童との交流が実現～

平成 29 年 12 月 4 日（月）、アフリカ南東に位置するマダガスカル共和国のブウアハンギ・ラジャオナリマンピアニナ大統領夫人が、「一校一国」（下記参考）で同国と関係の深い、横浜市立富士見台小学校（保土ヶ谷区）を訪問し、児童と交流を深めました。

1 訪問概要

（1）懇談

懇談では、校長、教育長、国際局長とともに、横浜市会の佐藤祐文日本アフリカ友好横浜市会議員連盟会長、尾崎太こども青少年・教育委員会委員長、渡邊忠則国際・経済・港湾委員会委員長が同席し、大統領夫人の横浜訪問を歓迎しました。

（2）授業参観

大統領夫人は、すべての学年の授業をご覧になり、3年生の音楽の授業では、児童たちが歌う「富士の山」を楽しそうに聞いていらっしゃいました。

（3）給食の視察

給食の配膳なども熱心にご覧になるとともに、4年生のクラスで児童たちと一緒に給食を召し上がっていました。同席した児童は、「初めてお会いし緊張したけど、とても楽しかった。」と喜んでいました。



2 大統領夫人の様子

視察を終えた大統領夫人は、児童から小学校の校章が入ったバンダナと手作りの作品を嬉しそうに受け取り、お礼にマダガスカルの写真集とともに、帽子やバッグ、ポストカードなど記念品を児童に渡されました。その際、「訪問させていただき、本当に楽しい時間を過ごしました。引き続き勉強を頑張ってください。また近いうちにお会いしましょう。」と子どもたちにメッセージをくださいました。

<参考>「アフリカとの一校一国」

横浜は、平成 20 年の第 4 回、25 年の第 5 回アフリカ開発会議の開催地となったことを契機に、アフリカとの交流・協力を進め、31 年の第 7 回アフリカ開発会議の開催地にも選ばれています。「アフリカとの一校一国」は、市内小中学生がアフリカへの理解を深めることを目的に、各国の大使館等の交流を深めるプログラムで、第 4 回、第 5 回の際の実施に続き、第 7 回会議に向けても取組を進めています。富士見台小学校は第 5 回の際にマダガスカルについて学び、第 7 回会議に向けても交流を行っています。

お問合せ先

（富士見台小学校について）教育委員会事務局国際教育課長 甘粕 亜矢 TEL:045-671-3267
（アフリカとの交流）国際局国際連携課アフリカ開発会議担当課長 後藤 勝 TEL:045-671-4714